

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ママズクラブ大津店		公表日	令和 7 年 3 月 14 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		区分分けしたスペースの確保ができています。1人当たり2.42㎡以上のスペースは確保している。現状30㎡を確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		システムで人員配置数を確認し職員の休日を決めている。曜日の利用児やその日の状態に合わせて適切に配置を考えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		手すりがあったり段差がない部屋だったり、バリアフリー化ができています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々の掃除で清潔さを保ち明るい陽が入る環境である。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別の空間をパーティションで設定している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		職員間での情報共有や日々の朝礼、終礼での振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様の意向を共有し、どのように行うか話し合い業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会や朝礼、終礼等での意見を出し合い業務改善につなげている。交換を行い業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修は確保されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		できている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		反映し作成されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		情報共有のもと共通した支援を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		共有し理解したうえで支援している。	HUGに移行したことでより共有しやすくなったと思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		5領域に区分分けした支援内容が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日々違った内容である。長期休暇には通常利用時、体験できないことを工夫して取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		お子さん1人ひとりに合わせた支援を行っている。個々に応じた課題に取り組み、日々の集団活動も工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼・終礼で情報共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼での振り返り、共有をしている。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ケア記録にて記録をとり、改善につなげている。連絡帳やケア記録に様子を書き込んでいる。	HUGに移行してからも、日々の記録は抜かりなく記入を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングにて見直し、改善を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		組み合わせた支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自分で選べるような工夫をしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管が参画している。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校との情報共有や送迎時の対応等できている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		児発管が訪問見学、情報収集を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	現在、該当児はいないが情報提供は行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	機会があれば今後検討していく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	4	他事業所との交流会を行ったり外出先で関わりをもったりしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	現状参加できていない。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳、面談で情報を共有する。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	今後検討している	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時、面談で説明している。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		設けている。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		同意を得ている。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて対応、支援を行っている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6		保護者交流会を行っている。	保護者会の回数を増やしていく、今まで不参加だった保護者さんにも参加していただけるように努める。
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		対応している。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		HUGで毎日発信している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		留意したうえ、同意をいただいている。	
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		配慮している。絵カード等利用している。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	今後検討していきます。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		周知し訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		アセスメントにて情報収集し確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		訓練等で安全確認している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者の方に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットを活用して同じことが起こらないように話し合いをしたりする。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修等で虐待防止のことを学んでいる。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		組織で理解している。該当する児童がいない。	